

浅田
彰

田中 康夫

今月の憂いコト

食品偽装の蔓延から、
若者のネットリテラシー、
薬のネット販売、
日本の弱体化まで！

新国立競技場が建てられる神宮外苑のイチョウ並木。
黄葉と呼ぶにはまだ時期尚早だったが、
少しばかり散歩を楽しんだ田中浅田両氏。
南青山のクリエイティブ・ワークプレイス
『FARO』で休みしながら、秋風が吹き始めた日本の歩む道を憂えた。

photographs by Hiroshi Takao text by Kentaro Matsui

異国呆談
season 2 VOLUME 42

食品偽装が流行るのは、形式知の社会だから。

浅田 2020年東京オリンピックのメインスタジアムになる国立競技場の改装費が、実際は3000億円かかると言われてたのが1800億円に削減される見込みだつて報道された。ザハ・ハディドの派手なデザイン案がそれで実現できるとは思えない。よけいにひどいことになるんじゃないかな。

田中 確かにね。彼女には「おもてなし」としてのデザイン料だけ支払って、別のデザインを採用したら? 最終選考11点に残ったフランス在住のヨシタネ、札幌のモエレ沼公園のように小高い丘陵の形状で建物全体を緑で覆うプランがネット上で人気らしいけど、梁のない屋根が生長していく樹木の重量に耐えられるか疑問視する意見もあつて、いやはや前途多難だ。



東京都の人口は2020年まで増え続け

ると発表されたけど、それはオリンピック開催が東京への一極集中と関西を含めた地方の人口減少を加速させると言っているわけだね。その東京も2060年には高齢化率が39・1%と全国平均の39・9%と変わらなくなり、75歳以上の後期高齢者も東京は現在の2倍以上になると政府は予測している。21世紀の折り返し地点を過ぎて超老龄化した東京にザハの20世紀的デザインの競技場がどのように映るか、その空虚感は誰でも想像できるだろうにね。

浅田 その新国立競技場が建てられる神宮外苑のイチョウ並木で写真を撮ったけど、まだ黄葉と呼ぶには早かった。昔なら京都でも今頃は紅葉のピークだったけど、温暖化のせいか2、3週間は遅くなつてた。

10 日本の場合、外食はJAS(日本農林規格)法の対象外で、適用されるのは景品表示法。2015年には一元化した食品表示法が施行されるけど、相変わらず外食は対象外と

月下旬にいちど冷え込むと鮮やかに紅葉するけど、あんまり遅くなると黒褐色になつて冴えないんだよね。

田中 気を利かせてフォトショップでイチヨウの葉っぱを着色したら「偽装だ」と言わなかねないご時世だ(笑)。こうした中、食品偽装とやらが芋蔓式に出てきて世間に騒がせている。

浅田 田中さんが知事時代の2002年にワインや米に関して創設した原産地呼称管理制度をはじめ、品質表示のルールを明確化すべきだね。そうでなければ「どこそこ名産の何々を使つている」とか標榜するのは止めたほうがいい。どうせ下らないフェティシズムなんだから。

田中 11年前も県議会の多くは、生産者の選別・差別に繋がると反対したけど、フランスやイタリアにはワインだけでなくハムやサラミ、チーズ、パンに至るまで生産地や成分に関する規定があるでしょ。

一方、「社会面」でも、ネットでは公私の別が薄れて「ダダ漏れ」状態になつてることからいろんな問題が起つてるね。コンビニのアルバイトが冷蔵庫に寝転んだ写真だの、中華料理屋で若い男性客らが全裸で撮つた写真だのが、ネット上に投稿される。仲間内の悪戯で盛り上がりがつてつりだろうけど、それが世界中に流れて事实上抹消できないってことがわかつてない。とはいえたが、その程度のことでもみんながアレルギーを起こす、あるいは店側がアレルギーを取りして慌てて店を閉め、そのぶんの賠償を騒ぎを起こした連中に請求するつていう

大豆の8割以上が輸入品なんだから、ホンマかいなつて疑問も湧いてくるね。大半の原材料名には「遺伝子組み換えをしない大豆」って書いてあるけど、食用若者もいるらしい。悪ふざけで世間を騒が

葉はネット販売ではなく、対面販売がいい。

浅田 今年は、インターネット社会の負の側面が表れた一年だった。「国際面」では、2010年にアメリカの外交文書を公開したウイキリーケスのジュリアン・アサンジュに次いで、NSA(アメリカ国家安全保障局)の大規模なインターネット通信傍受をエドワード・スノーデンが暴露。もちろん各国が互いに諜報活動を展開してるのは公然の秘密だつたけど、こうして証拠が出てくると盗聴されたほうも黙つてられなくなるからね。とくに社会主義体制下の秘密警察による盗聴のトラウマがあるドイツなんかの反発は強い。アメリカがこういう態度だと、中国のような一党独裁の国はもちろん、ヨーロッパまで含めて、ネットのバーカン化が進みかねないのが問題だよ。

せたい連中なんだから無視しとけばすむのに（苦笑）。

田中 もともと不採算だった店舗をこの機に乗じて閉めた事例もあるだろうし、妙な懺悔が蔓延しているよね。不祥事で大会出場を辞退する高校野球と同じで、禊みそぎをしました、社会的責任を取りましたという相も

変わらぬ精神論。これも形式知至上主義に陥っている日本を反映してる。

浅田 三鷹のストーカー殺人事件なんかも、もちろん被害者はかわいそうだけど、SNSで知り合ってつき合ってみたもののやつぱり合わないんで別れようつてことになると簡単にはいかない、そこにネットの軽さと現実の重さのギャップがあると思うな。カップルで盛り上がりがつたときに撮ったHな映像を、別れた途端にネットにアップする、いわゆるリベンジボルノなんてのは、ホントに最低だけど、とにかくテクストでも画像でもネット上に上げたらどこまで広がるかわからないってことはリテラシーとして教えとかないと。

田中 □うるさい学校の先生や近所のおばさんをすつ飛ばして世界中に流れていく。隣近所という小さな社会がB to Cの中で希薄化していく中での悲劇だ。杉並区が静岡県・南伊豆町に特別養護老人ホームを建てて高齢者を移住させようとしているのも、隣のコミュニティを新たな場所で存続させようという試み。課題はあるかもしれないけど、大事なことだと思うよ。

浅田 そう、以前から我々も述べてきているように、福島で放射能に汚染された地域の住民も、できればコミュニティごとどこかに移転することを考えたほうがいい。

田中 99・8%の市販薬（一般用医薬品）のネット販売を解禁する一方で、医療用か

ら切り替わった直後の23品目は安全性の調査期間を厚労省が求める4年から1年短縮して3年後から解禁。副作用リスクの高い劇薬指定の5品目は引き続き禁止する政府方針に、「特定の利益団体の利益を守る規制ありき」と産業競争力会議委員の三木谷浩史が激怒した騒動には、お口あんぐり。

「特定の利益団体」ネット業界の利益を増やす緩和ありき」のミッキーのブーメラン打法！と僕がツイートしたら、随分とりツイートされちゃつたよ。劇薬の中には勃起薬も含まれるから勃起で辞任騒動かと内閣官房参与の飯島勲が『週刊文春』で皮肉つてたけど、薬害が発生しても政府と製薬会社の責任でネット販売の自分たちは無罪放免だ、と言い張るのだろうからね。

その一方、「楽天日本一優勝セール」の77%オフセールで、元値の不当表示が発覚した。これに対するホ

ムページでの最初の告知タイトルが「一部報道について」だった。楽天側に非はないという東京電力もピクリな姿勢にも絶句したけど、複数の店舗で購入するトボイントを通常の40倍もプレゼントと大々的に告知していた楽天市場の「お買

い物マラソン」も中止しちゃつたのは、新自由主義経済の代表選手として問題じゃないの。だって、売り手も買い手も得べかりし利益を失っちゃつたんだから。病院の处方箋を必要とする薬もネットで販売させるというのは度を超えてる。年間6兆円に上る調剤薬局市場を独り占めしたい原理主義者なんだね。ネットがB to C化を突き詰めていくにつれて、現場の雇用がなくなつていく21世紀のモダンタイムスな問題も出てくる。

浅田 そう、薬なんかはやっぱり対面販売のほうがいいと思うな。患者の顔色を見て判断するといった細かなケアがいまの対面販売ができるとは思わないけど、むしろで消費増税を求めていたフィナンシャル・タイムズは、10月の決定後は「安倍首相の初めての政策的エラーだ」と酷評だよ。ウオールストリート・ジャーナルも社説で「（消費増税は）アベノミクスを沈没させる恐れがある。日本が自ら陥った財政の罠から抜け出すには、より急速で、より持続的な経済成長しかない」と言い出す。

それは労働規制を緩和しろ、移民政策を開拓しろという意味なんだろけど、穿った見方をすれば、増税で消費が落ち込み、国民が預金を殖やせば、金融資本が利用できる資金が生まれるわけだ。日本郵政グループからゆうちょ銀行やかんぽ生命保険を切り離して私企業化を徹底すれば、莫大な米びつだからね。

ところが国内政治的には、じゃあ景気失速を防ぐために景気対策だと、従来の公共事業よりも疑問符がつくカンフル剤として5兆円も投げる話に替わっちゃう。族団体や族議員は喜ぶかもしれないけれど、持続的な経済成長どころかさらなる財政規律の悪化でしょ。

他方で先ほどのファイナンシャル・タイムズが、イギリス、カナダ、オーストラリア、ニュージーランドとアメリカは情報を共有し、互いに監視はしない関係だが、フラン

それができるよう薬剤師の権限と責任を強めるべきなんだよ。

「右傾化」は、逆に日本の外交や経済を弱くする。

田中 欧米の金融資本は日本の「弱体化」を望んでいるのだなあと改めて最近感じるね。増税を延期するなら、（最近の日本の政治家としては珍しく）「実行力がある」という評判を失うだろう」と9月時点では社説

田中 康夫
たなか・やすお ●1956年東京都生まれ。一橋大学法学部卒業。大学在学中に『なんとなく、クリスタル』で文藝賞受賞。長野県知事、参議院議員、衆議院議員を歴任。



日本を反映している。(田中)



相も変わらぬ精神論。
これも形式知至上主義に

